

よみがえれ! トキ

被災地復興応援・世界農業遺産認定記念

佐渡「文弥人形」上演会

同時上演：福島県飯館村「佐須虎捕太鼓」

銀座文祥堂
2F イベントホール

11/19(土)

開場 12:00

開会 13:00～16:30(終了予定)

入場料 500円

多様な生命がつながり、
豊かな文化を未来に伝えていくために。

かつて全国の空を舞っていたトキ、
生態系の頂点にいる鳥の絶滅。
経済的な豊かさや効率優先の社会は、
トキの住みかを奪い

私たちは自らの居場所さえ

見失いつつあるのかもしれない。

野生のトキが最後まで生息していた佐渡島では
村人達の農の営みと協同の慣わし、

人形芝居や能、歌舞伎などの伝統芸能が
今もいきづいています。

そして、トキの野生化とトキの住める環境を
守るため棚田や有機農法などの取り組みが続いています。

文弥人形

重要無形文化財に指定された人形芝居。佐渡の文弥人形はひとりが一体の人形を操るのが特徴。人の持つ情をテーマに伝説の物語を深く象徴的に見せます。



主な内容

- ・飯館村の芸能「佐須虎捕太鼓」
- ・佐渡・野浦村の有機農業、里山里海を守る活動の紹介
- ・祝いの舞「春駒」
- ・文弥人形「弁慶と牛若丸 五条の橋の段」「阿新丸(くまかわまる)の仇討ち」

同時上演特別企画：福島県飯館村「佐須虎捕太鼓」



飯館村佐須地区で虎捕太鼓を始めたのは平成10年。この地にある虎捕山津見神社の由緒を曲にしました。約900年前、橘墨虎という乱暴者が村人を困らせていましたが、源頼義公の夢に現れた神のお告げで、深山の岩穴に潜む墨虎を見つけ、部下に退治させたということです。この由緒を表現した女性達の華麗で勇壮な太鼓の響きをお楽しみください。

虎捕太鼓会長 菅野稔男

※翌20日(日)には築地本願寺、安穂朝市にて上演

主催：よみがえれ!トキ 佐渡「文弥人形」上演会実行委員会 委員長 原秀一／共催：銀座文祥堂・飯館村支援の会

【このイベントに関する問合せ先】 佐渡「文弥人形」上演会実行委員会事務局 (ノリスシステム産直推進部) TEL 03-6233-7207

東日本大震災で被災された方は、被災証明書またはり災証明書をお持ち頂ければ先着50名様、無料でご覧いただけます。



第3回 よみがえれ!トキ 佐渡「文弥人形」上演会 3つのテーマ

- 食と農、文化の交流でトキの復活を
- 世界農業遺産認定で、さらなる飛躍を
- 福島県の伝統芸能との連携で被災地応援

美しい村・飯館村応援 佐須虎捕太鼓

美しい村、飯館村は見る影もなく荒れてしまってます。無人の民家の回りに生い茂る雑草、小川も禁漁となり、将来への不安から体調を崩すお年寄りも少なくありません。そんな現状に接し「もう一度、元気な虎捕り太鼓を聴きたい!」と今回、東京での上演を企画しました。村とは人のつながり!村の芸能や文化を関東の皆さんに披露することが、飯館村の応援になると考えます。(飯館村支援の会)

作る人と食べる人が手を携え、里を守る 有機農法の米作り

1981年に一度は絶滅したトキ。その復活を願い、佐渡島の野浦・片野尾両地区では、有機農業を中心とした棚田の米作りに取り組んでいます。パルシステムはこうしたお米を都市へ届けることで、「トキの野生復帰」に挑戦する人々を応援し、地元の伝統芸能の紹介を通じて、都市と農村の文化交流を進めています。



「トキを育むお米 (エコ新潟こしひかり)」の販売代金の一部は、地元の活動に還元される

佐渡島からの報告

トキの放鳥と野生復帰、その未来は…

「NPO法人トキの島」中島明夫さん。今年も行われたトキの放鳥現在の様子について報告します。

伝統を守り、未来に受け継ぐ

文弥人形と野浦・双葉座の人々

佐渡島は、能楽の祖といわれる世阿弥が流刑により晩年を過ごし、江戸時代には金山や西廻り航路の寄港地にぎわった歴史をもちます。文弥人形や歌舞伎、能などに代表される伝統文化が栄えました。こうした伝統は、現在も地域の人々により受け継がれて、文弥人形を演じる座も現在、島内に10座ほどあり佐渡人形芝居保存会を結成しています。

なかでも野浦双葉座は昭和54年、初代座長臼杵司氏の発案で8人の有志により発足。座員は300年の伝統芸能を守るため、週1回、厳しい練習に励んでいます。ふだんは漁業や農業をなりわいとしながら結成から30年を越え、島内での公演は500回を越え、座員数13人と島内一の座に成長しました。現在の座長、山本博美氏のもとトキ神社の臼杵司や唄と踊りの名手、羽正正義さん、人形遣いの北野源栄さん、語りの山本定夫さんなどのベテラン勢が、若手を指導しながら今も日々研鑽に励んでいます。



阿新丸船出

演目紹介と見どころ

春駒(はりごま)

元々は正月の門付け芸能。めでたい祝いの席などで魔を払い、福を祈って舞われた伝統芸能です。佐渡金山最盛期に財を成した山師の顔がモデルといわれるユニークな面。70年前から伝わる華麗な古代文様の装束もみもの。

弁慶と牛若丸 五条の橋の段

京の五条の橋に夜な夜な現れ、通りかかる武士に斬りつける色白、面長のイケメン・牛若丸。999人を家来としたが1000人目に現れたのが僧衣の武蔵坊弁慶。平清盛に命ぜられ牛若丸を討ちに来た。欄干を蝶のように飛び交う身軽な薙刀を落とされて降参。義経の家来となる。

見どころ!

佐渡の文弥人形では、義経と弁慶の役割が通説とは逆になっている。ふたりの躍動感あふれる大立回りの迫力。人形を軽々と扱う人形遣いの技にも注目!

阿新丸船出

佐渡へ流罪になった父に一目会おうと佐渡・真野の城を訪ねた阿新丸。父に会うことを許されず父を処刑した宿敵、本間三郎を斬ります。真野にある妙宣寺の怪僧、阿仏坊の念力で追っ手から逃れ野浦から船出、京に帰って出世したそうです。

見どころ!

仇討ちを果たした阿新丸が城外へ出る時、広い堀を渡るため笹につかまり竹をしならせて渡ったとか。芝居では本物の竹を使って迫力のアクション。

このイベントは、以下の団体・企業にご後援、ご協賛いただいています。また多くの個人の皆様にもご協賛いただいています。

【後援】

佐渡市、全国農業協同組合連合会、NPO法人 ふるさと回帰支援センター

【協賛】(2011年10月21日現在)

■生活協同組合

パルシステム生活協同組合連合会、生活協同組合パルシステム東京、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ、生活協同組合ドゥコープ、新潟総合生活協同組合、生活協同組合パルシステム千葉

■関連企業・団体(50音順)

伊丹産業(株)、(株)井上食品、おおよかずこ、(株)沖縄物産企業組合、(株)カジノヤ、木徳神糧(株)、共生食品(株)、銀座吉水、(株)熊谷、(株)ささかみ、ささかみ農業協同組合、(株)シータス&ゼネラルプレス、JA佐渡米穀流通対策基金、JASMEQ、全国米穀販売事業共済協同組合、(株)全通、全農パルライス東日本(株)、(有)テンダリーアシスト、(株)東洋精米機製作所、(株)戸田酒販、平田産業(有)、(株)マハラバ文庫、(株)流通サービス、(有)リーファース、(農)有機農法ギルド、(農)和郷園

銀座文祥堂 2Fイベントホール



東京都中央区銀座3-4-12文祥堂銀座ビル2F
東京メトロ丸の内線 銀座 C8出口 徒歩 2分
東京メトロ銀座線 銀座 A13出口 徒歩 2分
山手線 有楽町 徒歩 7分